

～ネット依存の疑い 中高生93万人…5年で40万人増～

オンラインゲームやSNSをやり過ぎるなど、インターネット依存が疑われる中高生は全国に約93万人いるとする推計を、厚生労働省の研究班が発表しました。スマートフォンが急速に普及したことなどを受け、前回（2012年）調査と比べると約40万人増加しています。（この調査は2017年12月～2018年2月に実施され、全国の中学校・高校103校の約6万4,000人が回答）



ネット依存に関する8つの質問

	質問項目	<参考>該当者の割合（高1）
1	ネットに夢中になっていると感じる	58.3%
2	満足を得るために、ネットを使う時間が長くなる	12.2%
3	ネットを制限しようとしたが、うまくいかなかったことがある	40.6%
4	ネットを制限しイライラしたことがある	21.5%
5	予定よりも長時間ネットを使ってしまう	55.2%
6	ネットのために、人間関係や学校活動を台無しにした、しそうになった	9.1%
7	ネットへの熱中を隠すために周囲にうそをついたことがある	17.2%
8	問題や不安などから逃れるためにネットを使う	27.0%

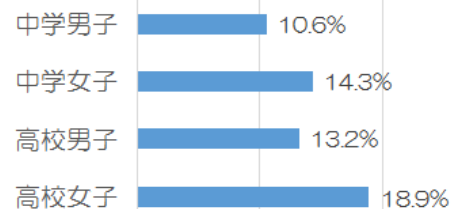
※厚生労働省研究班の調査表を元に作成

同報告書では、上記の8つの質問に5つ以上当てはまる人を「病的な使用」で、ネット依存が疑われるとしています。

その割合は、中学生で12.4%（男子10.6%、女子14.3%）、高校生では16.0%（男子13.2%、女子18.9%）となりました。これは前回（2012年）の調査結果と比較すると、顕著に増加しています。（下記表）

	2012年	2017年	
中学生	6.0%	12.4%	(約2.1倍)
高校生	9.4%	16.0%	(約1.7倍)

ネット依存が疑われる生徒の割合



また、ネットの使い過ぎで発生した問題として「成績低下」（中1：53%、高1：57%）、「授業中の居眠り」（中1：20%、高1：47%）を挙げた生徒が多く、次いで「遅刻」「友人とのトラブル」などとなっています。



<出典>

- ・厚生労働省 飲酒や喫煙等の実態調査と生活習慣病予防のための減酒の効果的な介入方法の開発に関する研究

<https://mhlw-grants.niph.go.jp/niph/search/NIDD00.do?resrchNum=201709021A>

- ・独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター ネット依存治療部門

<http://www.kurihama-med.jp/tiar/index.html>